PRESS RELEASE
〈報道関係各位〉

2026年11月20日

株式会社有隣堂

サイバー攻撃への備え、「侵入防止」だけでなく「事業継続」も重要に

「有隣堂 Solution Forum 2026 vol.2」開催レポート

～1990年代から続く企業向けイベント、本年2回目はセキュリティ・AI・業務改革に焦点～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員：松信健太郎）は、2026年11月17日（火）、企業の経営課題解決を支援する「有隣堂 Solution Forum 2026 vol.2」を開催しました。
今回は「セキュリティ」「AI」「バックオフィス」の3分野を中心に、専門家によるセミナーと展示会を実施し、90社、122人が参加しました。実際のサイバー攻撃被害やAIによる業務改革などを通じて、企業が直面する課題と具体的な解決策を紹介しました。



■開催の背景と目的

「有隣堂 Solution Forum」は、1990年代に始まった企業向けセミナー・展示会を源流とし、2020年からは「有隣堂ビジネスソリューションフェア」として展開してきました。コロナ禍で集客イベントの開催が困難な時期にはオンラインでのウェビナーを実施し、このたび7年ぶりとなる大型集客イベントを開催しました。 2026年は「有隣堂 Solution Forum」の名称で開催し、今回が本年2回目となります。本フォーラムは、神奈川県内を中心とする中堅・中小企業をはじめ、企業の経営者や情報システム・総務・経理・人事部門などの担当者を主な対象としています。
近年、サイバー攻撃による業務停止や情報漏えいが企業経営に大きな影響を及ぼす一方、人手不足を背景としたAI活用や業務効率化も重要な課題となっています。
こうした背景から、今回は「『何から始める？』を『これならできる！』に変える一日。」をテーマに、ランサムウェア被害から学ぶ事業継続対策、AIを活用した経理業務改革、新たなセキュリティ評価制度への対応など、実践的な情報を提供しました。

■サイバー攻撃への備えとAI活用、企業に求められる3つの取り組み

1．サイバー攻撃対策は、被害後の復旧・事業継続まで

Cyber Governance Lab株式会社 代表取締役社長の達城利元氏は、2024年に株式会社関通で発生したランサムウェア被害を題材に、全システムの停止から再構築に至った経緯と事業継続の重要性を紹介しました。サイバーセキュリティを情報システム部門だけの問題ではなく、企業経営や事業継続に関わる課題として捉える重要性が示されました。

2．AI活用は、身近な業務の効率化から

リコージャパン株式会社の菅原剛氏は、中小企業におけるAI活用をテーマに、経理業務の効率化について解説しました。
複合機「SDシリーズ」と「RICOH 受領請求書サービス」を活用した請求書の電子化や入力・確認作業の効率化など、具体的な活用事例を紹介。AIの導入自体を目的とせず、日常業務の負担軽減や生産性向上につなげる方法を取り上げました。

3．新たなセキュリティ評価制度への備え

エムオーテックス株式会社の市川愛望氏は、経済産業省が制度化を進める「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）」について、制度の概要と企業が準備すべきポイントを解説しました。
同制度は、企業のセキュリティ対策状況を可視化し、サプライチェーン全体の対策強化を図る任意の制度です。
取引先との関係においてもセキュリティ対策が重要になるなか、自社の現状を把握し、必要な対策を計画的に進めることの重要性が紹介されました。また、デジタルデータソリューション株式会社の冨田秀次氏は、実際の被害事例をもとに、侵入防止に加えて、検知・初動対応・復旧・再発防止までを含む対策の必要性を解説しました。

■来場者アンケートから見えた企業の課題と導入ニーズ

フォーラムの来場者アンケート（回答78件）では、企業が現在抱える課題として、「サイバーセキュリティ対策・BCP強化」が63.2%（48件）で最多となりました。次いで「生成AIの安全な業務活用・FAQ自動化」が40.8%（32件）、「SCS評価制度への対応」が35.5%（27件）となり、サイバー攻撃への備えやAI活用への関心の高さがうかがえました。また、関心を持った展示ブースでは、「セキュリティ」が69.9%（51件）と最も多く、具体的な対策製品・サービスにも高い関心が寄せられました。
一方、導入・検討時期については、81.8%（63件）が「未定」と回答しました。今後の対応については「現時点では情報収集のみ」が81.8%（63件）と多数を占めたものの、今後希望する対応についても「現時点では情報収集のみ」が82.3%（65件）と多数を占めました。その一方で、「個別説明・訪問相談」（9件）、「デモ体験・実機検証」（6件）、「概算見積・導入費用の確認」（5件）など、具体的な検討を希望する回答もありました。
これらの結果から、セキュリティ対策やAI活用への関心が高い一方で、具体的な導入時期を決めていない企業も多く、継続的な情報提供や個別支援の重要性がうかがえます。
なお、フォーラム全体の満足度は、「大変満足」「満足」の合計が85.5%（71件）となりました。
※回答期間：2026年11月17日～19日／回答83件。各割合は設問ごとの有効回答数を母数として算出（現在の課題76件、展示ブース73件、導入・検討時期77件、満足度83件）。課題・展示ブース・今後の対応に関する設問は複数回答。

■セキュリティ・バックオフィス・AIのソリューションを展示

会場では、セミナーに加えて3分野の展示ブースを設置し、企業が抱える課題に対応する製品・サービスを紹介しました。

- **セキュリティ：**社内PCの一元管理、ランサムウェア対策、SCS評価制度への対応、不正侵入対策、被害からの復旧など
- **バックオフィス：**経理・人事給与のクラウド化、請求書処理の自動化、紙書類の電子化など
- **AI・クラウド：**生成AIによる文書・FAQ作成、WebサイトのAI自動応答、安全なクラウドデータ活用など


会場の様子

セミナーで学んだ内容を、具体的な製品・サービスの検討につなげられる機会としました。

■今後の取り組み

有隣堂では、今回のフォーラムや来場者アンケートで把握した企業の課題やニーズを今後の提案活動に反映し、企業ごとの状況に応じた解決策を提案してまいります。

今後も「有隣堂 Solution Forum」を通じて、企業の経営課題に役立つ情報を継続的に発信するとともに、専門企業との連携を通じて、セキュリティ対策、AI活用、バックオフィス業務の効率化など、企業の生産性向上や事業継続につながるソリューションの提供を進めてまいります。

■開催概要

- 名称：有隣堂 Solution Forum 2026 vol.2
- 日時：2026年11月17日（火）10:00～17:00
- 会場：AP横浜
- 所在地：神奈川県横浜市西区北幸2-6-1 ONEST横浜西口ビル4F
- 内容：セミナー・展示会
- 参加費：無料（事前登録制）
- 主催：株式会社有隣堂
- 参加企業数：90社
- 参加者数：122人
- 公式サイト：https://www.yurindo-office.jp/news/posts/news_YSF2026vol2

■有隣堂のソリューション営業について

有隣堂は、ICTソリューション、ドキュメントソリューション、オフィスプランニング、購買ソリューションなど、法人向けの幅広いサービスを展開しています。企業ごとに異なる課題に対し、商品・サービスの提案から導入・運用支援までを通じて、業務改善や生産性向上を支援しています。

有隣堂 ソリューション営業本部

https://www.yurindo-office.jp/

■株式会社有隣堂について

- 会社名：株式会社有隣堂
- 本社所在地：神奈川県横浜市中区伊勢佐木町1丁目4番地1
- 代表者：代表取締役 社長執行役員　松信健太郎
- 創業：1909年12月13日
- 事業内容：書籍・文具・雑貨等の販売、出版、音楽教室、飲食事業 ほか